

05

川崎市におけるふるさと納税の現状と取組



市税の意義と役割

これまで見てきたように、欠かすことのできない様々な行政サービスの多くは、皆さまが住む川崎市が担っていますが、それは主に皆さまで分かち合いながら負担いただいている市税により賄われています。市税は、皆さまが地域で暮らしていくうえで必要な社会共通の費用に使うための「会費」のようなものです。

ふるさと納税とは？

ふるさとを応援したいという納税者が、住んでいる地域（＝自治体）以外にも寄附ができる制度であり、寄附額の一部を市税から控除（＝税金の計算から除くこと）することができます。

※多くの自治体において寄附した金額に応じた返礼品を用意。

ふるさと納税の仕組み

（川崎市以外の自治体へ寄附する場合）



川崎市民

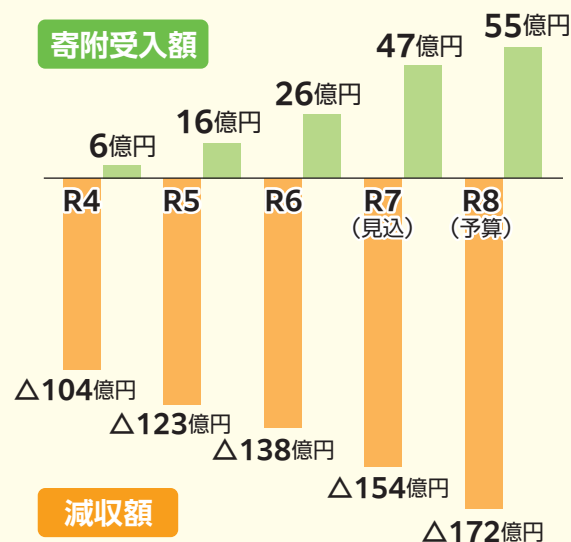


他の自治体



川崎市

ふるさと納税の現状



寄附受入額は

55億円

市税の減収額は

172億円

*令和8年度当初予算
時点の見込み

172億円は園児数8,600人分（対象園児数の約25%）の保育園の運営に要する経費と同程度です。



「ふるさと納税」によって流出している市税は、
本来は、私たち川崎市民のために使われる貴重な財源です。

